

ベーシックインカム導入にあたっての 最適な施策シナリオの検討

○木村一真 市川学（芝浦工業大学）

Examining optimal policy scenarios for the introduction of basic income

*K.Kimura and M.Ichikawa(Shibaura Institute of Technology)

概要— 日本の社会保障は、高度経済成長期の日本型雇用システムに沿って作られた。しかし、近年の社会情勢の変化により、正規・非正規雇用者の格差などの課題を抱えている。この課題の解決にベーシックインカム（以下、BI）が期待されているが、フリーライダー問題や財源確保の問題などの懸念点が存在する。本研究では、BI 導入による国民の生活と経済への影響を分析することで、日本での BI 導入における施策シナリオの検討を行う。

キーワード：ベーシックインカム，社会保障，シミュレーション

1 はじめに

1.1 社会保障制度の現状と課題

現在の社会保障制度は、戦後日本の社会に沿った特徴を有している。厚生労働省（2012）¹⁾によると1960年代の高度経済成長期に定着した長期雇用慣行と企業内の福利厚生による日本型雇用システムによって、会社が従業員に対して長期の安定した雇用を保証していた。しかし、労働者の立場が確立されていなかったため、男性従業員は、長時間労働や頻繁な転勤など、生活よりも仕事を優先することになった。この男性が仕事に専念することを可能にしたのは、結婚または出産を機に会社を退職して専業主婦となった女性が、「夫の役割は仕事、妻の役割は家事」という性別による役割分担に基づき、育児や介護などの身内に対するケアの労働を担ったためとされている。

従って、現役世代の生活保障は企業や家庭がその中核を担い、日本の社会保障はこれらを補完する役割が強かったため、働いていない高齢世代を中心に行われてきた。そのため、高齢者以外の世代に対しての社会保障の支出は先進諸外国と比べて、抑えられていた特徴がある。

このように、日本型雇用システムと社会保障制度によって国民の生活は支えられてきたが、近年の社会情勢の変化により、いくつかの課題を抱えている。

具体例の一つとして、正規労働者と非正規労働者の格差が生じやすいことが挙げられる。企業内の福利厚生は正規雇用者に比べて、非正規雇用者は十分に充実していないことが多い。そのため、所得格差以上の格差が広まる。このほかにも生活保護制度の捕捉率（生活保護基準を下回る経済状況にある世帯が、実際に生活保護を受給している割合）の低さ²⁾や少子高齢化による現役世代への負担が増加などの課題がある。

1.2 ベーシックインカムについて

上記の課題を解決するために、社会保障制度の代替政策としてベーシックインカム（以下、BI）が期待されている。

BI とは、すべての人に、個人単位で、無条件かつ定期的に最低限度の生活に必要なお金を給付する政策³⁾のことをいう。全国民に現金給付されるため、消費が活発になり景気対策になることや、企業への福利厚生の負担を減らすなど、課題解決以外での効果が期待されている。一方で、給付だけもらって働かなくなるフリーライダー問題や給付を行うための財源確保の問題などの懸念点が存在する。そのため、フィンランド⁴⁾やカナダ⁵⁾などでは、実証実験が行われていたが、実施目的は生活や労働インセンティブへの影響の分析のみで、経済への影響といった他の分析がされていない。また、予算の関係で実施した期間や規模が十分でない場合が多い。

2 研究目的

海外の BI の実証実験では、一部の低所得層に限定、かつ長期的に実施していない。そのため、社会保障としての BI 導入による影響は未知数である。本研究では、BI の導入による国民の生活と経済への影響を分析して、日本での導入における施策シナリオの検討を行う。

3 今後の方針

分析を行うために国民の生活や経済の状況を表すシミュレーションモデルを構築する必要がある。そのため、モデル構築に必要な所得の変化による国民の生活や消費行動の影響、社会保障の変化による企業の負担・経営の影響についての調査を進める。

4 参考文献

- 1) 厚生労働省：平成 24 年厚生労働白書－社会保障を考える－，29/77（2012）
- 2) 日本弁護士連合会：生活保護 Q&A パンフ https://www.nichibenren.or.jp/library/ja/publication/booklet/data/seikatuhogo_qa.pdf
- 3) 山森亮：コロナ危機下のベーシックインカムと最低所得保証，都市問題，112 巻 1 号，58/66（2021）
- 4) 徳丸宜徳，柴山由理子：フィンランドにおける普遍主義の特質とベーシックインカム社会実験，北ヨーロッパ研究，15 巻，13/24（2019）
- 5) 中原聡志：社会保障におけるベーシック・インカムの重要性，香川大学 経済政策研究，第 14 号（2018）